

# ほけんだより

応急手当講習会特別号

R5. 5. 26  
朝日町保小中一貫教育校  
朝日町立朝日中学校

5月23日、2年生が応急手当講習会に参加しました。

朝日消防署、朝日町女性消防団の方から心肺蘇生法やAEDの使い方を丁寧に教えていただきました。グループに分かれ、模型人形を使って実際に体験することで、いざという時に一歩踏み出して行動する勇気と技術を身に付けることができました。



時間の経過とともに救命率は低下するから  
素早い救命処置と119番通報が大事！



助けを求める  
「誰か来てください！  
人が倒れています！」



手の付け根  
を胸の真ん  
中に置く

お願いする時は指名する

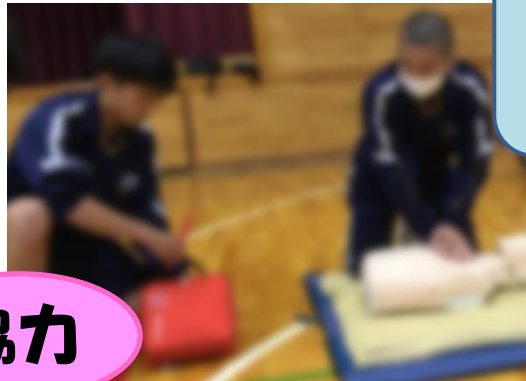
「あなた 119番通報をしてください」  
「あなた AEDを持ってきてください」



胸骨圧迫のポイント  
強く 速く 絶え間なく  
1分間に100回のリズムで  
胸が5～6cm沈む程度



協力



## みんなの感想

人が倒れていたら、自分からすぐに何らかの行動をすることが大事だと思いました。人任せにせず、自分からやることの大切さを学びました。

人によって胸骨圧迫の仕方を変えることが分かりました。赤ちゃんだったら指2本、子供だったら片手、とすぐに判断してやるのがすごいと思いました。

人と協力することで効率的な応急手当ができることが分かり、協力することの大切さを学びました。AEDの使い方はとても簡単でいい、と思いました。

ドラマで見たことはあったけど、実際にやってみると緊張して、どうすればいいか戸惑ってしまったけれど、周りの友達のアドバイスやサポートで何とかできました。

実際に自分で胸骨圧迫をやってみて、力強く押さないといけないし、30回したらだんだん疲れてきました。今回の講習会で自分にもできることが増えたので、もし倒れている人を見つけたら正しい対処をしたいです。

今回、命の尊さと胸骨圧迫の大切さを学びました。胸骨圧迫は実際にやってみると、とても大変で、ずっとし続ける救急隊の方のすごさを感じました。自分は胸骨圧迫をし続ける自信はありませんが、そうだとしなくてもやるべき事は必ずあると思うので、それを徹底してやりたいです。

一番びっくりしたことは心臓と呼吸が止まってから居合わせた人が救命処置をするかしないかで助かる確率がかなり違うことです。自分が救命処置をすることで救える命があるなら、手当ての技術を身に付けたいと思いました。

人の命を助ける大切さを学びました。救急車が来るまでに少しでも命をつなげられるように、こわがらず勇気を出して手当てしたいです。

一番大切なのは「この人を助ける」という気持ちだと聞いて、正しく処置できなくても力になれるようがんばりたいと思いました。

人形でも緊張したので、いざという時、自分には何とかできるとは思えませんでした。でも、落ち着いて判断して、周りに声をかけて、みんなで力を合わせたらできると思いました。

自分たちはいつでも人の命を助ける手助けができるということを知り、なぜだかとても嬉しい気持ちになりました。自分にもできることがあるなら全力でその人の命を助けたいです。

## 朝日町 AED マップ

- ① 朝日町老人福祉センター
- ② 特別養護老人ホーム有磯苑
- ③ 島谷クリニック
- ④ 五叉路周辺複合施設
- ⑤ 朝日町図書館
- ⑥ さみさと小学校
- ⑦ 朝日町役場
- ⑧ 彩りの里
- ⑨ 朝日インター 料金所
- ⑩ 朝日中学校
- ⑪ あさひ野小学校
- ⑫ 境パーキングエリア 上下線

